

2020 年度自己点検・自己評価

専門学校 福山国際外語学院

校長 井浦伊知郎

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等に関する評価

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 理念に基づく教育が行われているか	5

*現状と課題

学校設立の理念と目標である「国際社会で活躍できるグローバルな人材の育成」を通じて、若者たちが未来に描く夢の実現と国際社会の発展に貢献することを使命とする。

2. 学校の運営に関する評価

2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
2-7 危機管理体制は整備されているか	4
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

*現状と課題

理事及び専任教職員が日常的に情報共有を行うことで、教学を含む業務体制の点検・改善に努めている。

3. 教職員に関する評価

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
3-3 教職員評価を行っているか	3

*現状と課題

新任教師には教務主任が授業案について教案のチェックや授業見学による助言・指導を行うと共に、教師間の授業見学も推奨し、授業能力の向上・改善につとめている。

4. 教育活動に関する評価

4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	5

4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4	成績評価は適切に行われているか	5
4-5	資格取得の指導体制はあるか	4

***現状と課題**

日本語学科においては教務主任が全体のカリキュラム編成と授業日程の作成に直接あたることで、体系的な教育活動がはかれるよう努めている。日本語能力試験、日本留学試験の対策も授業計画に組み込まれている。また専修課程においては専門知識と経験を有する教育者・研究者・事業経験者に授業を委嘱し、各種資格取得を念頭に置いたカリキュラムを作成・実施している。

なお、入国が遅れて学習進度に問題のある学生を対象に特別クラスを開設し、学生のニーズに合わせた内容と進度で日本語の補習授業を実施している。

5. 学校運営に関する評価

5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5	保護者と適切に連携しているか	5
5-6	卒業生への支援体制はあるか	5
5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

***現状と課題**

新入生を対象とした健康診断を行い、寮生活者には定期的に生活状況の確認を行っている。出席状況、学習態度等に問題のある学生の保護者には連絡をとり、改善を促すようつとめている。学生の治療・入院には学生と意思疎通可能な言語能力を有する職員が随行し、健康回復まで十分なケアを行っている。

特に今般の COVID-19 流行への対応措置として、分散登校を実施し、学生に不要不急の外出自粛を徹底させる一方、広島県の無料 PCR 検査について案内し、受検を推奨すると共に、校舎入口での検温と各教室での手指消毒を定着させた。

6. 在留管理と生活指導に関する評価

6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

***現状と課題**

留学生をめぐるトラブルに適切に対応し、またこれを未然に防ぐため、所轄警察署（福山東警察署）および広島出入国在留管理局とは、設立当初から緊密な連絡を維持している。学生の母語による疎通が可能な職員により、SNS による連絡網を活用し、教職員間で学生に関する情報を把握するようつとめている。卒業生の進学・就職についても、専任教職員で分担してきめ細かく支援に当たっている。

7. 学生の募集と受け入れに関する評価

7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

*現状と課題

現地の日本語学校、送出機関から紹介された学生、また個人申請の希望者も含め、面接と筆記試験により選抜すると共に、記録を保存している。学生の紹介を受けた機関については、入学後の学生の素行等も踏まえて翌年度以降の提携を随時見直し、質の確保につとめている。

8. 財務に関する評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

*現状と課題

COVID-19 流行にともなう入国制限措置の影響により 2020 年度日本語学科生の一部が入国できない状況ではあるが、専修課程は平常運営されており、次年度までの入国再開による経営基盤の安定が見込まれる。

9. 法令等の遵守に関する評価

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善につとめているか	5
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

*現状と課題

文科省、広島県学事課、出入国管理庁、その他関係省庁への各種申請・報告を遅滞なく実施できるよう、に担当分担の連絡を欠かさずにつとめている。

10. 社会貢献に関する評価

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

*現状と課題

地域の日本語学校と共にスポーツ・文化行事への参加協力を進め、近隣の通信制高校との交流行事を定期的に行っている。ただしこれら交流行事は 2020 年度末の時点で暫時休止中であり、感染状況が収束すれば再開される予定である。